



たようくん 多様君だよ！

H29 7/24 (月)
東村山市立八坂小
記録者 桜井(福生)

東京都小学校体育研究会 多様な動きをつくる運動(遊び)部会記録 No. 7

— 「夏季合研」「実証授業」に向けて —

◆参加した先生 と 本日の流れ

常任理事 部長 副部長 歴代部長 授業者(今年度)

常 矢部校長先生	東村山市立八坂小学校	今泉先生	荒川区立尾久宮前小学校
部 菊池先生	杉並区立桃井第三小学校	伊東先生	豊島区立目白小学校
副 高木先生	町田市立大蔵小学校	鈴木先生	豊島区立目白小学校
副 田邨先生	福生市立第三小学校	大瀧先生	江戸川区立瑞江小学校
授 大野先生	足立区立綾瀬小学校	染谷先生	足立区立千寿小学校
上島先生	八王子市立第五小学校	桜井	福生市立第三小学校

本日の流れ

- 1、常任理事より
- 2、部長より
- 3、大野先生より
- 4、実践報告(菊池先生、大野先生)
- 5、研究主題の考え方の再確認
- 6、4年間の単元計画と実証授業について
- 7、指導案検討(大野先生)
- 8、夏季合研の役割分担
- 9、常任理事より

◆話し合い内容

1 常任理事より(矢部校長先生)

運動の楽しさは「できる」ことにあるが、子どもにとって「できる」とは何か。クロールや二重跳び、前転などは「できる」が見えやすいが、多様は見えにくい。**演習** 利き手とは逆の手で自分の名前を書いてみて、ぎこちなさを体験する。(本来利き手もぎこちなかったはず。)→動きの獲得へつながる。

2 部長より(菊池先生)

あと2か月しかない。よろしく願いしたい。

3 大野先生より

『多様な悩み&提案カード』を作成。多様に限らず、体育の悩みやわからないところ、部会でわからないところ、提案などなんでも気軽に書いてほしい。

4 実践報告

① 3年生(26名)実践報告(1/4時)(菊池先生)

- ・共有の仕方…特定の子ではなく、「みんな一生懸命だったね！」◎
- ・共有の順番…①態度面(一生懸命)②投捕③移動 は、中学年でも有効◎
- ・自由度の高さからのスタート◎→共有の時間②でほぼ投捕になる(24/26人)
- ・低学年との違いは、何も言わなくても友だちとの関わりや組み合わせが見られたこと。

② 3年生 休み時間にボール遊びの実践(大野先生)

- ・ネーミングの工夫◎…なりきれると楽しい 例:エレベーター100階キャッチ、地下30階キャッチなど

5 研究主題の考え方の再確認

- ・多様部会で強調したいことは2つ。一つ目は、子どもの気持ちや欲求により寄り添うこと。二つ目は、特に土台となる「学びに向かう力・人間性等」に着目したいこと。
- ・低学年と中学年では段階が違ふことを踏まえて「伝え合う活動」に迫る。
- ・「意欲がない児童」という文言の捉え方。さらに適切な言葉を探す。

6 4年間の単元計画と実証授業について

2年生（45分）と3年生（30分）の実証授業で、どの時間を本時とするかを検討。

- A案：2年生3/5時（「広げる」の1/3時）→3年生2/4時（「工夫する」の1/3時）
A'案：2年生3/5時（「広げる」の1/3時）→3年生3/4時（「工夫する」の2/3時）
B案：2年生2/5時（「やってみる」の2/2時）→3年生3/4時（「工夫する」の2/3時）
C案：2年生5/5時（「広げる」の1/3時）→3年生1/4時（「やってみる」の1/1時）
- ・低学年の「広げる」と中学年の「工夫する」は、同じ意味であることを確認。（昔の名残）ただ2年と3年はアプローチが違う。場やめあてのめたせ方が変わってくる。
 - ・伝え合う活動は、例えば2年は先生インタビュー、3年は友だち同士のインタビュー。
 - ・ポイントは参観者が何と何を比較して見ることができるか。（理科の実験の条件設定と同じ）
 - ・A案は、2年生と3年生ともに「広げる＝工夫する」の1時のため、比較しやすい。
 - ・A案は「工夫する」1時のため、まだうまく伝え合いができる段階ではないのでは。3年生は「工夫する」で行う「伝え合う活動」をどのように見せられるかがポイントにもなる。
 - ・B案は、2年生「やってみる」で欲求が満たされ動きが広がり始める時間、3年生は「工夫」の2時でより動きが広がっている時間。
 - ・C案は、2年生で「広げる」を終えたあとの3年生「やってみる」へのつながりになるため、視点としてはおもしろい。しかし本当の意味で接続が見せられるのか。（2年生は体づくり5時間の後、他の単元も経験している。）
 - ・1時は映像でも見せられるのでは。（自由度の高い活動から、子ども達がねらう動きにまとまる過程を見たい参観者もいる）

7 指導案検討（大野先生）

- ・バランス、移動、力だめしの運動遊びは歌遊び（♪へんしんへんしん大へんしん）で行う。
- ・運動遊びは、用具につながるものがあるとよい。
- ・共有の時間は3回とる予定だが、回数は妥当か。 ・共有で取り上げる内容はまだ検討中。

8 夏季合研の役割分担

- ・各チーフを中心にそれぞれ役割分担し準備を進める。夏季合研と実証授業に向けて同時進行。

9 常任理事より

多様が他の領域と異なり難しいところは、「できた」の動きが決まっていないこと。そのため指導者のアドバイスする力量が違ってくる。指導者のレベル①できたかできないかしか言えない。レベル②できなかったことを指摘できる。レベル③さらに改善策を示す。レベル④子どもの気持ちに寄り添える（動き方がわかっているため）。子どもを見誤るとできないレッテルをはることになる。

♣次回の部会 と 宿題確認

次回 7月27日(木) 14時00分から渋谷区立加計塚小学校です！

宿題 ①4年間の単元計画をA案にした理由の文章化（参加した部員のみ）

②例示に示されたボールの扱いについて考える（特につかむ、持つ、降ろす、回す、運ぶについてどう扱うか。単元の中でどう扱うとよいか）